

# 風景特性と地区区分

風景づくりを具体化するために、風景特性にあわせた  
3つの風景形成基準適用地区を設定します。

## 歴史地区 (町なみ型)

この地区は、港・城下町としての面影や日々の生活の中から生み出された文化的な風景が色濃く残る区域であり、水路や湧水の水辺、下街道、安土街道、景清道の沿道において、それぞれの特性を生かした町なみの形成を促進します。



目標イメージの例

### 歴史地区(町なみ型)

#### 常楽寺

石垣造りの舟入や水路が入り組んだ水辺の町なみが特徴的な風景を形成しています。安土街道（橋本町の通り）においては、町家や寺院などが建ち並ぶ、趣のある町なみを形成しています。

各時代の石垣は、特徴的な水辺風景を構成する要素として欠くことができないものであるため、原則として現状を維持します。

建築物は、伝統的な木造建築物との調和を図り、道路側だけでなく、水辺に面した側のデザインにも配慮します。



目標イメージの例

### 歴史地区(町なみ型)

#### 下豊浦

城下町当時の街路を基盤として町なみが形成されており、安土城跡が間近に迫る独特の風景を醸し出しています。また、安土川に面した家々に設けられた川（堀）に下る石段等が、後の内湖での漁労などの田船の基地であったことを物語っています。

安土川に下る石段を保全するとともに、建築物は、安土城跡や伝統的な木造建築物との調和を図り、道路側だけでなく、水辺に面した側のデザインにも配慮します。



目標イメージの例

### 歴史地区(町なみ型)

#### 上豊浦

景清道の緩やかな曲線に沿って形成された趣のある町なみであり、上豊浦の台地東端に沿った道沿いには、表に生垣や前庭を設けて、主屋を道路から後退させた伝統的な農家住宅が建ち並ぶ緑豊かな風景を形成しています。

敷地規模の維持と十分な敷地内の緑化を図るなど、生垣や前庭が連続する通りにおいては、これらと調和した町なみの形成を図ります。



目標イメージの例

## 歴史地区 (田園型)

この地区は、安土城跡の周囲に広がる田園地帯であり、安土城跡と一体となって優れた歴史的風土を醸し出しています。



農地などに面する部分は、植栽などにより自然との連続性を感じられるようにします

この地区は、低層で勾配屋根を持つ、落ち着いた色彩の戸建住宅を中心とした住宅地であり、駅周辺や幹線道路沿いの一部では、安土の商業・業務地としての役割も担っています。

沙沙貴神社の森、ハナミズキの街路樹、住宅敷地内の緑等が町なみに潤いと安らぎを与えています。



目標イメージの例

## 歴史地区 (一般型)

町なみ型や田園型の歴史地区に隣接する区域や点在する歴史資産の周辺では、その歴史的環境を損なわないようにします。



## 《地区区分図》

